

標準的な教育テキスト（中間案）を用いた検証講習について

1 目的

標準的な教育テキスト（中間案）（以下「テキスト」という。）を3事業所及び消防機関が主催する防災要員への防災教育で活用し、防災要員等から出た意見や要望を、テキストに反映することで、より活用しやすいテキストとする。

また、防災管理者等から教育・研修のあり方等について意見を伺う。

2 各社における講習の概要

(1) A社（石油化学業）

講師	環境安全部 防災管理課 課長
受講者	副防災管理者、防災隊長及び製造課係長等 計17名
講習時間	75分
テキストの活用内容	序章～第4章、第8章（一部）、第9章、第10章
講習内容	テキストを元に事業所で作成した PowerPoint を利用し講習。 なお、PowerPoint は管轄する消防署の助言を得ている。

(2) B社（鉄鋼業）

講師	安全環境防災部 環境防災室 シニアスタッフ
受講者	副所長、防災要員及び各工場長等 計44名
講習時間	120分
テキストの活用内容	序章～第10章（講師が不要と判断した箇所については適宜省略）
講習内容	テキストを用いた講習（テキスト原本をスクリーンに映写し、講師が重要と考えた内容に黄色でマーキング）
備考	テキストを用いた講習後に、内容を補完する目的で事業所個別の講習を実施

(3) C社（石油精製業）

講師	安全環境部 安全課 課長
受講者	防災要員 計16名
講習時間	135分
テキストの活用内容	第1章～第5章
講習内容	テキストを用いた講習（テキストの図のうち数枚をスクリーンに映写）

(4) 神戸市消防学校

講師	消防職員（警防課、指令課、危険物係、教育係等）
受講者	経験年数3年未満の防災要員11名、経験年数3年以上の防災要員3名の計14名
講習時間	160分
テキストの活用内容	- 第1章、第2章第2節、第8章第1節、第10章第1節の座学 - 第7章第6節～10節を基にした各種訓練（直接的なテキストの活用は無し）
講習内容	神戸市消防局が定期で実施している防災要員への研修の一部でテキストを活用したもの

3 講習前の事前調整における講師の意見

- ・ 1対1や少人数における教育であればテキストのみで対応できるが、複数人の受講者に対する講習となるとテキストを元に様々な準備が必要なので負担が大きい。
PowerPointだけでもいいのであれば提供して欲しい。
- ・ 講師がテキストの内容を理解するところから始めるので、講習の前にテキストの内容について教えて欲しい。
- ・ 十分な教育を実施できていないのでこのような機会はありがたい。
- ・ 今回の受講者の役職等を勘案し、講習するテキストの内容を適宜、割愛する。
- ・ テキストに記載のない事業所個別のものについては随時追加して講習を行う。
- ・ 自社でこのようなテキストを作成する事はできないのでありがたい。

4 講習後のテキストに対する講師の意見等

(1) テキストに対する感想

- ・ 第7章は写真が多く非常に参考になる。
- ・ 完成したテキストは初任者教育に活用したい。
- ・ このような教材がなかったのでありがたい。
- ・ このようなテキストを自社で作りたいが、教育する内容に根拠を求められるので難しかった。消防庁からテキストが出されれば非常に使いやすい。
- ・ テキストは全体の流れを理解できるので構成、内容が良い。
- ・ 全体を網羅しているテキストはありがたい。
- ・ 法令の内容が含まれているので活用範囲が広い。
- ・ テキストの内容は十分。これ以上の項目が増えると大切な部分が薄れるのではないかな。
- ・ 法令関係の基礎的な事項がまとめられており教育に役立つ。

(2) テキストに関する具体的な意見

- ・ 全体的にもっと図、写真を増やして欲しい。
- ・ 消防技術説明者に対する記載を増やして欲しい。
- ・ 危険物第4類のうち水溶性液体に関する記載を増やして欲しい。
- ・ テキストは石油関係の事業所に特化しているように思われる。
- ・ 呼吸器の着装やホース延長には時間的なめやすを入れるのはどうか。初期の迅速な対応が重要と考えるので良い指標となる。
- ・ 安全管理の内容を説明するには建物火災の内容も多少は必要ではないか。
- ・ 第1章安全管理は特に図、写真が少ないのももっと欲しい。
- ・ 通報に関しては具体例を増やしてはどうか。例えば特別防災区域の通報は地域防災計画に具体的な内容が記載されているケースが多いので、地域防災計画を確認することの重要性など。
- ・ 自衛防災組織と公設消防の違いが曖昧であり、自衛防災組織にどこまで求めるかを明確にした方が良い。
- ・ 9章の想定訓練内容は大規模事業所向けに感じる。小規模の事業所にはなじみにくい。

5 教育・研修のあり方に関する意見

- ・ 今回の講習会のために図、写真、動画を追加で探し、PowerPointを作成する作業を行った。図等を多く利用する事が重要と考える。
- ・ 講師の負担が大きく、また育成に不安があるので講師に対する講習があればありがたい。
- ・ テキストの内容は初任者向けと考えるので、自社で対応できると思う。
- ・ テキストに不足している事業所個別の内容については事業所で対応できる。
- ・ テキストは新人教育に有効と考える。
- ・ テキストはボリュームがあるので、テキストを渡されて教育しろと言われるだけでは負担が大きい。
- ・ テキストを用いた講習を継続していきたいが、一定のレベルの講師による教育を継続するのは難しい。
- ・ 外部の講習機関があれば活用したいが、費用にも限度がある。
- ・ テキストによる文章だけの講習では受講者の解釈に左右される事がある。一目で分かる映像等の教材があればよりわかりやすい。
- ・ 図上訓練等演習の形式でも良いので体験できる訓練形式の研修を受講させたい。
- ・ 指揮本部要員に対する教育が必要と感じている。
- ・ テキストだけでなくPowerPoint等の補助教材があればより効率よく教育ができる。

- ・ 業務の性質上、一度に大人数の職員を外に出せない。外部講師を呼び社内で教育して欲しい。
- ・ 防災要員は資機材等に関する知識は有しているが、法令関係の知識が不足している。
- ・ 具体的な経験がなければ講師の説得力に欠ける。事業所の従業員による講習は、このことが課題となるのではないか。
- ・ PowerPoint、映像等の補助教材があればよりよいのではないか。
- ・ 参加する防災要員の減少が続き、研修会自体も縮小傾向にある。単独で実施することに限界を感じているので外部の講習機関があれば活用してもらいたい。
- ・ 事業所によって事業形態や規模が異なるので全ての事業所に共通する内容で教育を実施することが難しい。

標準的な教育テキスト（中間案）を用いた検証講習
アンケート調査結果
【A社・石油化学業（レイアウト事業所）】

1 実施日時

平成 29 年 10 月 31 日 9 時 15 分～10 時 30 分（75 分）

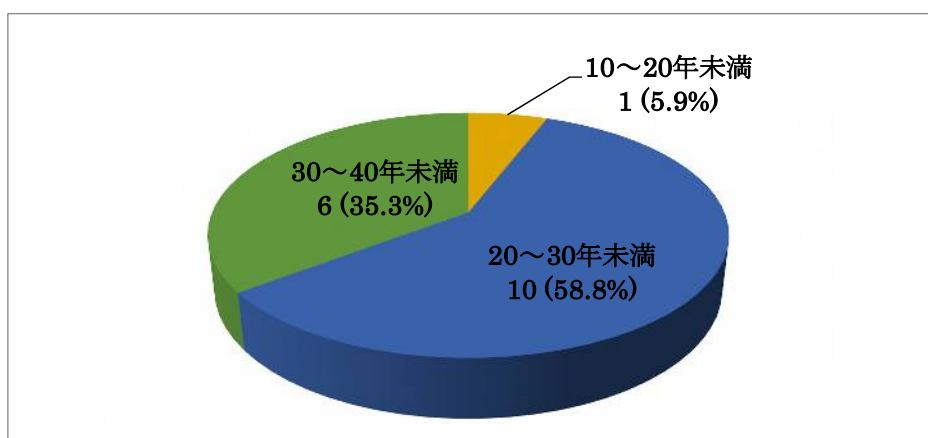
2 講師

環境安全部 防災管理課 課長

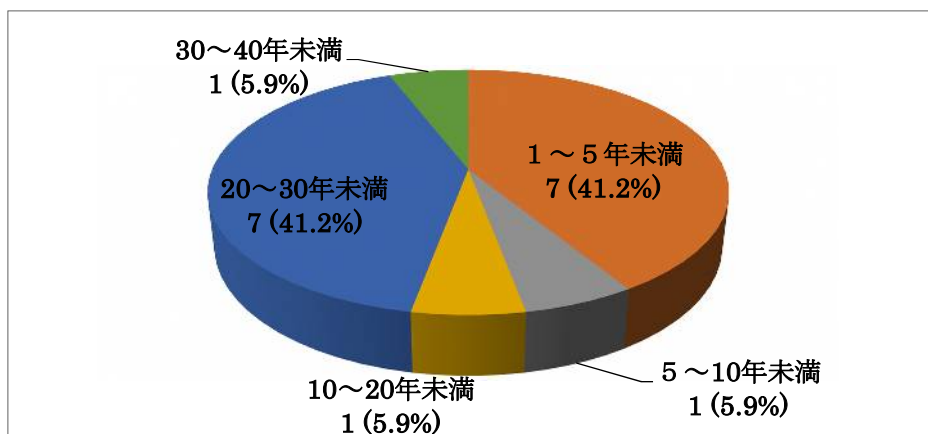
3 受講者

副防災管理者、防災隊長及び製造課係長等の自衛防災組織の編成員 計 17 名

(1) 勤続年数別



(2) 防災業務の経験年数別

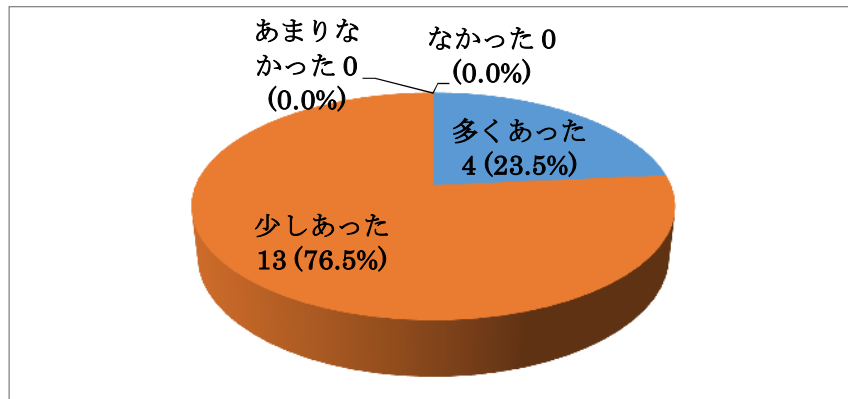


4 座学で使用したテキストの章・節等

序章～第4章、第8章（一部）、第9章、第10章

5 講習会について

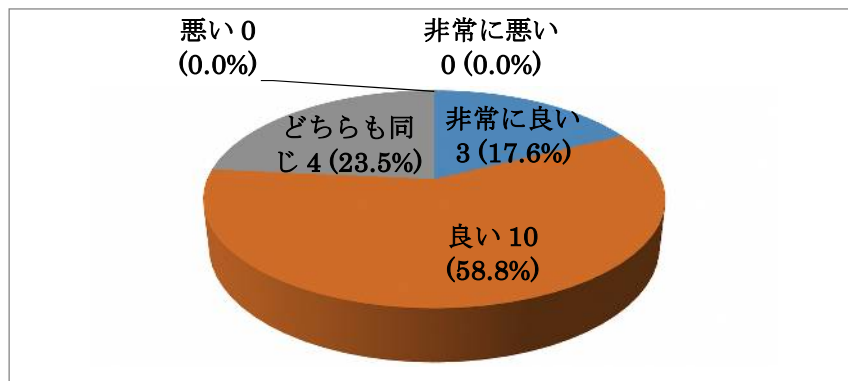
(1) 実際の業務に活かせる内容がありましたか



<意見等>

- ・ 訓練等について参考となる部分有り。
- ・ 大半は知っていることであった。

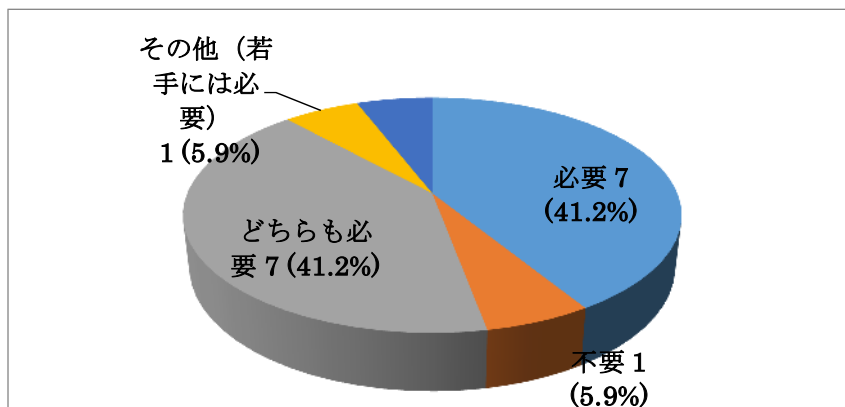
(2) 貴社で行われている従来の教育内容と比較していかがでしたか



<意見等>

- ・ 多岐に渡っているため、若い世代への教育資料となる。

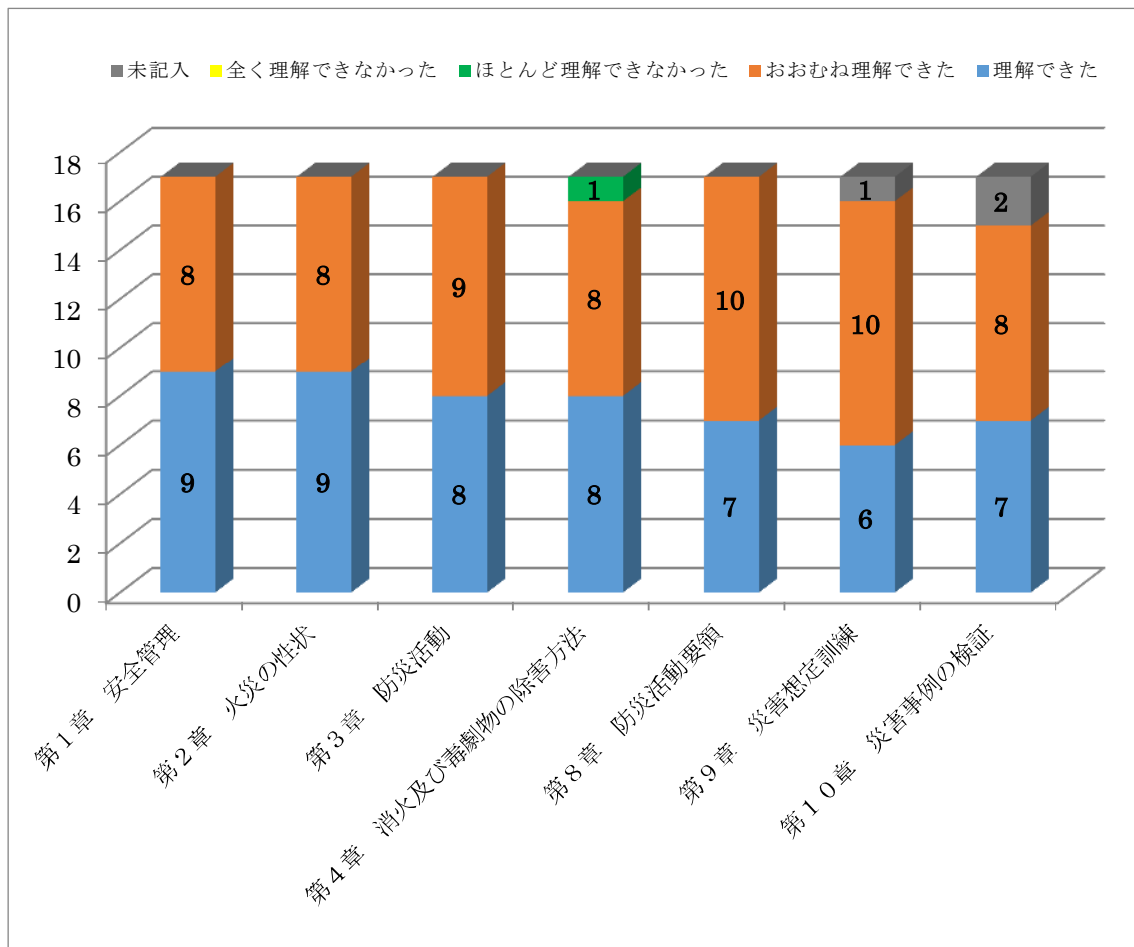
(3) 貴社で行われている従来の教育と比較して本講習会の必要性はありますか



<意見等>

- ・ 若手には必要である。
- ・ 防災活動に関して石災法などの法令と併せて学習できた。
- ・ 他の外部講習でも同じ内容が多く必要を感じなかった。

6 テキストについて



< 章ごとの意見等 >

特になし

7 その他について

(1) テキストの内容に対するご意見、ご希望がございましたらご記入下さい。

- ・ 各異常現象に対する標準的な対応処置方法等がオーソライズされていれば、防災業務に携わる人にとって一番有用ではないか。
- ・ 8章でストレッチャーの使用方法が欲しい。
- ・ 危険物取扱者保安講習テキスト+α
- ・ 防災活動の消火方法、どこに散水、冷却するなど絵が有り、もっと具体的資料が欲しい。
- ・ 見易く分かり易いと思う。
- ・ テキストをカラーで記載して欲しい。
- ・ 基礎教育（考え方等）を学ぶ資料として、参考になるものだと感じた。

(2) 全体を通してのご意見や、お気づきの点がありましたらご記入下さい。

- ・ 防災隊の装備と、実際の活動、能力について知りたい。
屋外消火栓の放水能力・限界等、無線等の必要性（連絡、指示の伝達方法の重要

性)

- ・ 災害発生対応時の人員、資機材の交代、補給の方法は？必要な物は？
- ・ ボイルオーバーのビデオにより危険が再確認できた。
- ・ ビデオ教育を多く取り入れて欲しい。
- ・ テキストの内容量に対し、学習時間が短い。
- ・ 若手には良いと思う。
- ・ 火災時の消火方法として、行ってよい消火、又、行ってはいけない消火方法の具体的な説明を受けたい。
- ・ 防災要員の定義が分かりづらい。
- ・ 防災隊への訓練は数多く行うが、非常対策総合本部の訓練はないのか？休日夜間訓練時に適当な感じがよくある。

標準的な教育テキスト（中間案）を用いた検証講習
アンケート調査結果
【B社・鉄鋼業（レイアウト事業所）】

1 実施日時

平成 29 年 10 月 18 日 13 時 15 分～15 時 15 分（120 分）

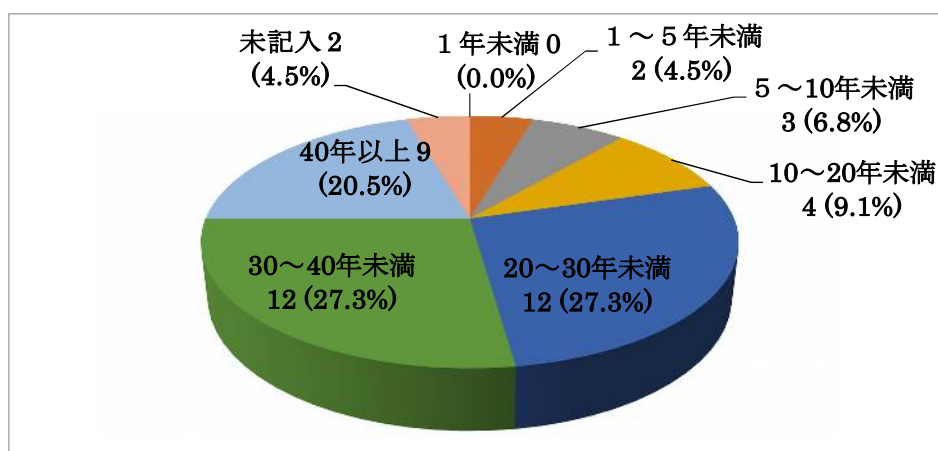
2 講師

安全環境防災部 環境防災室 シニアスタッフ

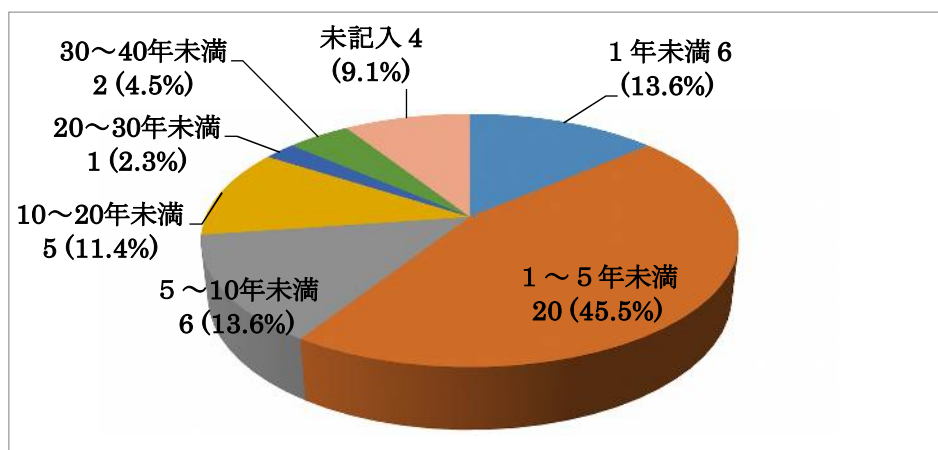
3 受講者

副所長、防災要員及び各工場長等の自衛防災組織の編成員 計 44 名

(1) 勤続年数別



(2) 防災業務の経験年数別

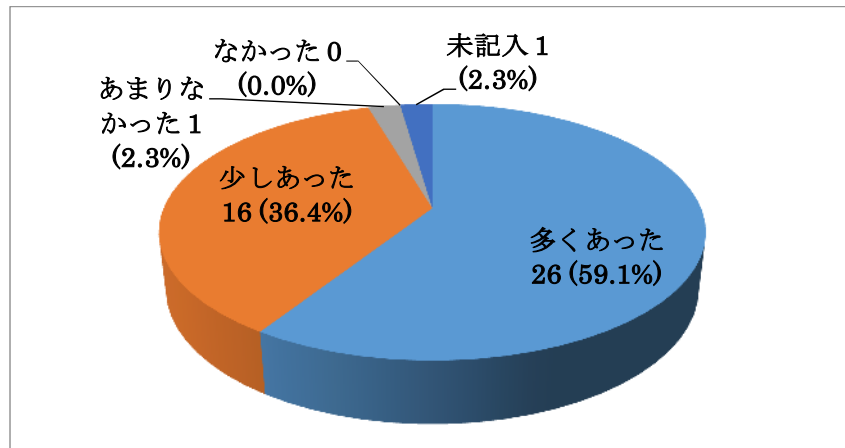


4 座学で使ったテキストの章・節等

序章～第 10 章（講師が不要と判断した箇所については適宜省略）

5 講習会について

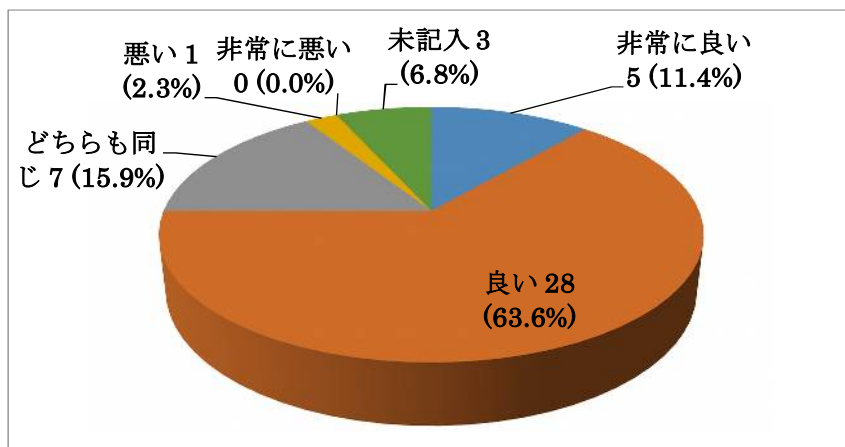
(1) 実際の業務に活かせる内容がありましたか



<意見等>

- ・ 具体的に記載できる箇所で、抜けなく分かり易い表現で書かれている。
- ・ 防災活動時における安全管理部分は大いに参考となる。
- ・ 防災を体系的に学ぶことができた。
- ・ 火災の四要素、火災時の鎮火方法や教育訓練が業務に活かせる。
- ・ 大規模化学プラントを想定されているので、我々が対応する火災とはやや異なる。

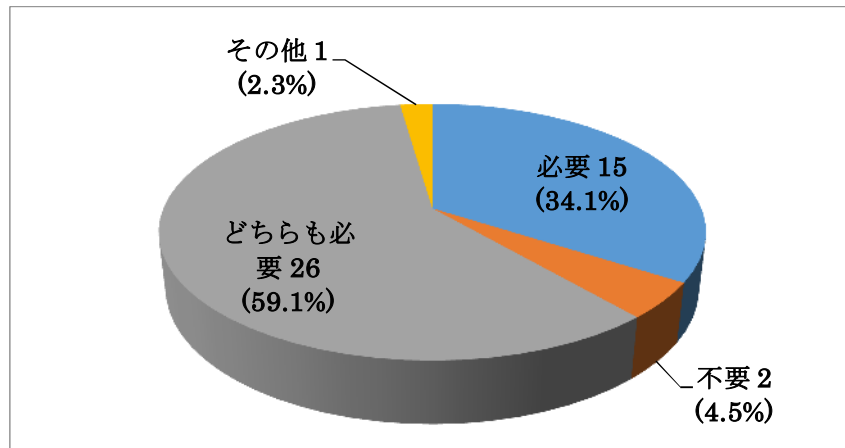
(2) 貴社で行われている従来の教育内容と比較していかがでしたか



<意見等>

- ・ 表現が丁寧で分かり易い。
- ・ 資機材の使い方などに使用できる。
- ・ 予防をメインに行っており、発生後の活動部分は有用である。
- ・ 所内教育は専門的、今回の講習は標準的なもの、それぞれ良いところがある。
- ・ 専門知識もあり、広範囲に及ぶ充実した内容であった。
- ・ 災害事例がためになった。

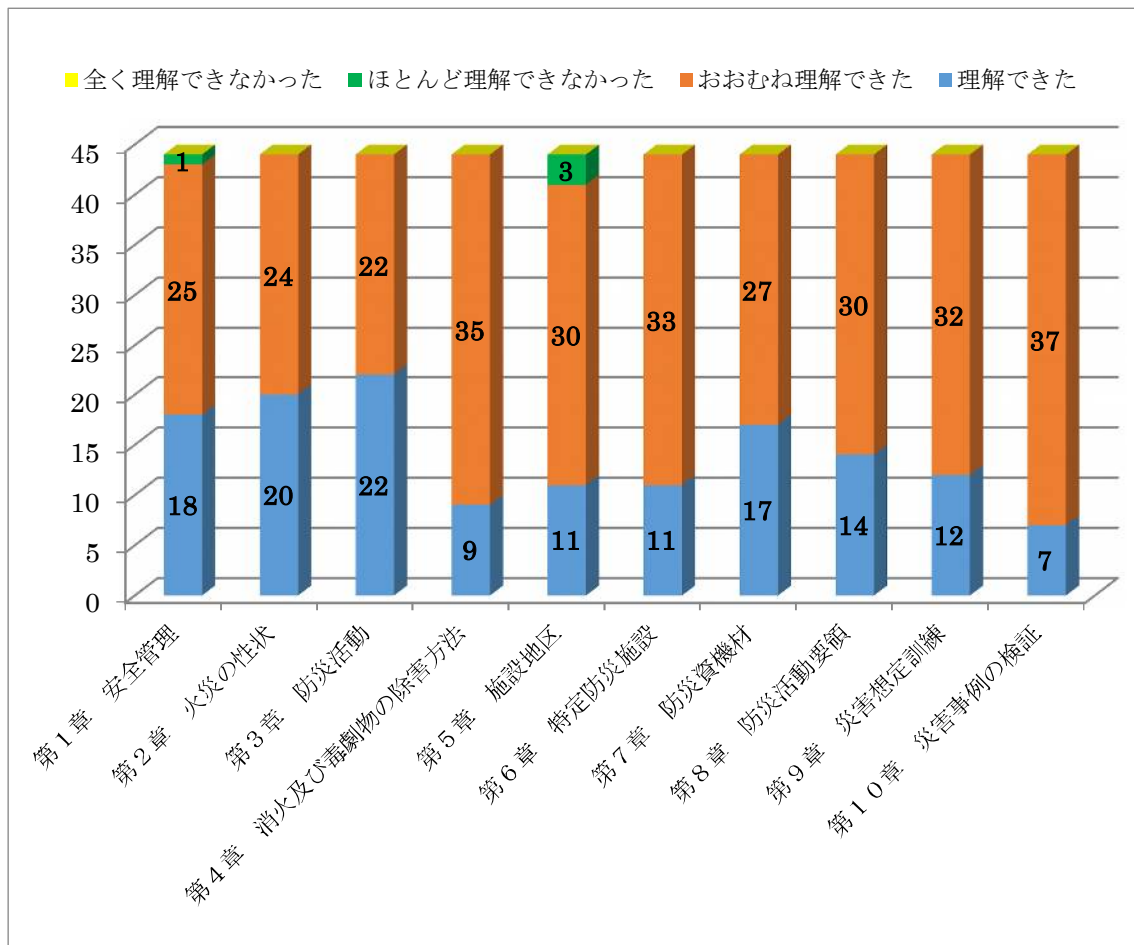
(3) 貴社で行われている従来の教育と比較して本講習会の必要性はありますか



<意見等>

- ・ 当社の教育は鉄鋼業の具体的予防に関する事が重要であり、今回のテキストは初動の具体的方法の示唆する点が貴重と考える。
- ・ 一般的な火災の知識が学べた。
- ・ 予防と発生後の対応どちらも重要である。また、一般的な内容なので職場に特化した教育も必要である。
- ・ 対象者と章をしばって実施すれば良いのではないか。例えば、管理者は法関連、班長層は資機材や訓練の章など。
- ・ 部分的に活用したい。
- ・ もう少し鉄鋼業に即した内容にかみくだく必要がある。

6 テキストについて



< 章ごとの意見等 >

第1章 安全管理

- ・ 7～8行のパラグラフとして小標題も太字ゴシックで強調する手法が分かり易い。パラグラフの追加メンテも分かり易い様に思う。太字の文字も適切なものを選んでいとの印象。P6 の図にNo.がついていないので付けた方がよい。対応後の反省まとめの項目があってもよいのではないかな。（KYT とは別に）
- ・ 対応中の事故防止は非常に参考となった。
- ・ 石災法に関する条文が参考になった。
- ・ 当社・当所が関係する箇所が分からなかった。
- ・ 再認識した。

第2章 火災の性状

- ・ 図 2-2-6 は P25 の余白に描いた方が、ポンツーン等が何を示すのかが分かり易いのではないかな。
- ・ 第3節2は、高压ガスの危険性とはっきり書いた方が訴えるのではないかな。また、低温による危険性の中に、当構内で過去に発生した事故事例の内容も追記してはどうか。
- ・ 当社に該当しないものは飛ばしたが、テキストとしてはあった方がよい。

- ・ タンクの上部強度を少し弱めることで、炎を上部に誘導する事は知らなかったの
で、勉強になった。

第3章 防災活動

- ・ 第1節火災対象施設の公設機関への技術的説明の必要性を追記してはいかがか。
(8章でも改めて出てくるものの)。
- ・ 第2節と第3節の章立てが違うのは見づらい。第2節の太ゴシックが分かり易い
のではないか。
- ・ P40「ウ 消火栓に水利部署」の意味が理解できなかった。

第4章 消火及び毒劇物の除害方法

- ・ 窒息消火の場合、火点に近くなるため、突入する際の注意事項(熱、呼吸など)
を記載してもよいのではないか。
- ・ P53の図にNoを。
- ・ SDSシートをもう一度チェックして、現場に役立つものにしていきたい。

第5章 施設地区

- ・ この5章は付録にしてもよいのではないか。
- ・ 専門的すぎてスルーしてしまう。
- ・ 当社・当所が関係する箇所が判らなかった。

第6章 特定防災施設

- ・ 水利に関して、非常電源など停電時の対応を記載してはどうか。

第7章 防災資機材

- ・ 法定ではないが排煙用ファン等を追記してはどうか。
- ・ 6章か7章のどちらかに照明と停電時の照明対応について追記してはどうか。
- ・ 空気呼吸器の操作訓練は写真付きで良かった。
- ・ 耐熱服の装着訓練も現場代表者に訓練させたい。

第8章 防災活動要領

- ・ この章は、事業所によって異なると思うが、本部、現地本部、現地指揮所の分
担を意図した記載が必要ではないか。
- ・ 誰がやるのかを明らかにするため、初動の時間目標感(メドでもよいので)をざ
っくり書けないか。
- ・ 8章の章立ては、1・2節共通、3節漏れ、4節自然災害、5節調達、6節広報、
7節救護、8節汚染防止となっているが、1・2節で暗黙のうちに火災・爆発の内
容を含有しており、逆に3・4節があるのに火災・爆発が明記されていない構成に
なっている。⇒ 3・4節(8節も)は、各論なので後ろに廻した方が分かり易い

のではない。

- ・ 発生事例検討で防止観点の疑似経験はできるが、防災活動の実例情報（実経験も）は少なく、この点のテキストは有効である。

第9章 災害想定訓練

- ・ 建物火災の放水訓練の部分に感電防止目的の電源オフ処置を追記すべきではないか。
- ・ 概ね理解しているつもりだったが、詳細に明文化されているので、新人の教育資料に良いと感じた。
- ・ 今年度は電気室火災が中心だったが、油火災等いろんな火災を想定した訓練をやっていく。

第10章 災害事例の検証

- ・ テキスト提供側として、再発防止策の推奨事案を記載したらどうか。
- ・ 物理的破裂の事案は1件追加しても良いのではないかと。（当構内で過去に発生した事故事案など）
- ・ 消防活動における失敗事例等があれば・・・
- ・ 一連の災害を紹介しているので分かり易い。

7 その他について

- (1) テキストの内容に対するご意見、ご希望がございましたらご記入下さい。
 - ・ どこかに泡消火剤の使用後の処理について環境上の具体的注記があった方がよい。
 - ・ 鉄鋼業に特有の可燃物に関する災害や防災活動等の事例も掲載されているとより参考にできると思った。（ベルトコンベアや石炭等）
 - ・ 鉄鋼業の火災と規模、火災の対象物の差があり、このテキストをベースに鉄鋼業に関する所を追加して教育をしていきたい。（今回の教育のように）
 - ・ 各職場の規定や防災活動、点検など、すでに決まっている事を継続するケースが多いので、そこに至る基本の原理・原則を学ぶ上で一連の活動・管理のつながりも見えるまとまったテキストは非常に役に立つと思う。一方でどうしても広くなるので、このテキストをベースにした職場独自の教育は必須である。
 - ・ 防災の中で、発災後の対応に関しては特に役に立つと感じた。
 - ・ 法令にはじまり、考え方、火災の性状、活動、資機材等、各章毎にまとめられており、教材としてとても分かり易いものであると感じた。特に、資機材の章は写真、図も多く良かった。他の章ももっと写真等多くあればとつき易いと思う。
 - ・ 自衛防災組織、防災活動等に関して、幅広く書いてあるので非常に参考になった。
 - ・ 注水がダメなもの等を巻末に表で示してあると、頭の整理もし易いと思った。
 - ・ 防災活動に対して、このような内容がまとまったテキストはなかったと思うので教育に役立つと感じた。
 - ・ 専門外の部分は少し難しく感じる部分もあったので、補足等があれば良いと感じ

た。

- ・ まとまりがある教材ができ、日常業務においても活用できると思う。
- ・ 防災活動全般について、体系的によくまとめられたテキストとなっている。適宜読み返す事も容易で、防災知識向上に結びつくと考ええる。
- ・ 鉄鋼会社向けとするには、過不足箇所があるが、各事業所で対応することで問題はない。
- ・ 完全な冊子として、より多くの人に配付できるようにしたい。特に交替職場の班長は常に情報が少なく勉強する機会もまちまちなので共通のものが欲しい。
- ・ 具体的な災害事例が写真付きで多く用いられていて、興味を引くので非常に良い。
- ・ 安全面について記載されていて非常に良い。日常から有事の際の消火活動（戦術）に意識が向きがちだが、一番大切なことである。
- ・ 広範囲に渡る防災の知識や消火方法等が記載されており、関係する箇所を抜き取り教育指導の資料として活用していきたい。
- ・ 基礎知識習得の面では、教育用として活用できるが、各事業所によって特色があるので、その分を付加する事で更なる知識、応用ができるようになる。
- ・ ゆっくり時間を掛け、室・工場防災管理規定の見直し時に修正、追記していきたい。
- ・ 職場勉強会に活用していきたい。
- ・ 鉄鋼業に関する内容が少ない気がする。箇所ごとに補完して活用していく。
- ・ 現在、工場で防災マニュアル（標準書）を作成しているが、今回の研修で使用されたテキスト内には多くの参考になる内容があった。見直しに活用したい。
- ・ 大変勉強になった。忘れていた事もあり、再勉強することができ、今後、現場に反映させていく。
- ・ 良くまとまっているテキストなので職場で活用していきたい。
- ・ コンビナート施設を主体とした教材であり、活用すべき項も多い。鉄鋼業特有のプロセスも取り入れ職場で活用する。現在職場では全国消防協会発行の「火災防ぎよ」という教材を使用して勉強会をしており、併用したい。
- ・ 防火管理者テキストのように一般火災も対象にしたものはあったが、コンビナートを対象にしたまとまったテキストであり活用したい。
- ・ この様にしっかりとまとまったテキストがなかったため、再度内容を見直して今後の防災業務に活かしたいと感じた。
- ・ 防災に関してテキスト一冊にまとまっており、現場の新人も増える中、今後の教育・訓練に活かしていきたい。
- ・ 災害想定訓練や災害事例の検証では所外の情報もあり参考になった。
- ・ 文書内をもう少しポイントをしばって分かり易くできないか。
- ・ 全てに目を通していないが、自職場に関連するものをピックアップし、教育・理解度アップに使用したい。内容としては、非常に理解しやすい。
- ・ 従来のテキストは部分的なものであったが、今回はまとまった資料で今後の教育等に活用していきたい。

- ・ 重要なワードに、下線 or 太文字にしたら分かり易いと思う。
- ・ 字が大きく写真もあり大変親しみ易い。
- ・ 防災トラブルは日常的に発生するものではなく、非日常的なものである。自職場以外の事例から想定して、発災防止、発生時の処理訓練を行っているが、まだまだ深く踏み込んだ備えが必要と感じた。今回のテキスト内容は、管理者、担当者が理解していれば良いものではなく、職場の一人一人が理解し、日々の防災活動に活かすべきである。職場にトランスファーして、全員参画の防災活動に役立てたい。
- ・ 消火活動については、概ね網羅されていると思うが、防災活動（未然防止）の視点がもう少しあるとよいと思った。
- ・ 高温溶融物（1600℃以上）漏えい時の災害事例がありましたら記載をお願いしたい。

(2) 全体を通してのご意見や、お気づきの点がありましたらご記入下さい。

- ・ 個別にも書いたが、章立ては同じにした方が読み易いし、太ゴシックの表題を付けて7～8行で1パラグラフの概念にまとめる書き方は魅力的である。ベターっと同じ字面で長いよりメリハリがあった方が読む側はありがたい。
- ・ 現地対策本部のあり方がよく分かった。自分たちの訓練に使って行きたい。テキストは非常に分かり易い。
- ・ 発災後の対応は経験が少ないので、好事例、失敗事例の例があれば良い。
- ・ 消火活動における撤退判断の事例等があれば良い。
- ・ 鉄鋼業に関する部分は少ないが、標準的な講習会には良いと感じた。
- ・ 鉄鋼業に当てはめた場合の第Ⅱ部があり理解が深まった。
- ・ 研修会を通じ、自らが初心に戻るとともに、今後の防災業務への取り組みも変化していくと思う。部内でも周知し、今後の活動に繋げたいと思う。
- ・ もっとゆっくり、時間を掛け、多くの人に伝えたい。内容が良いだけに防災担当者だけではもったいない。
- ・ 時間のある時にゆっくり読んでみたい。
- ・ 事故は万が一かもしれないが「0」ではないことを再認識し、日々の教育や訓練また工事用火気の取扱いを指導していきたい。
- ・ 防災レベル向上に向け、公設 OB を招いての座学、OJT を実施して、徐々にレベルアップに努めているが、今回の資料を併せて教育に活用していきたい。
- ・ 9章の想定訓練を実際にやる事で、有事の応用力が付くと思われるので実施してみたい。
- ・ 少し時間が短いので、研修で全ての内容を把握するのが厳しいと思った。
- ・ 消火戦術を身に付けるために活用していきたい。
- ・ 事例も多く使用して分かり易いテキストになっていたと思うが、鉄鋼業の事例が少なかったと思う。
- ・ 1996 年、2017 年の火災を風化させないために、防災管理基準書に残し、教育の仕組みを作って、二度と火災を起こさない防災活動を展開していく。

- ・ 大切に重要な部分を強調して記載すると更に良いと思われる。
- ・ 防災活動計画の取り組み、考え方等の解説も付記いただけると助かる。
- ・ テキストの説明が早く、聞きもらした項目がある。当所に関係する点を示した資料にしていきたい。
- ・ 第1章から第10章まで、項目ごとにまとめていて分かり易い資料であった。
- ・ 防災活動が再認識できた。職場の防災教育（特に新人）に使用していく。
- ・ テキストの内容が濃いので、職場に持ち帰り再度読み返し、自職場の防災に活かしていきたい。
- ・ 本日は時間が短くテキスト内容を確認するには厳しかった。ある程度範囲を絞ってチェックすれば細かく対応できると思う。
- ・ 最後にQ&Aがあるといい。
- ・ 担当者としてはまだまだ踏込が甘いと感じた。一次的な取組でなく、継続的に訓練等を行い、万が一に備える事が大切である。また、訓練も従来通りで良いとせず、様々なアプローチで行い、職場の皆が安全に過ごせるよう努めていく。
- ・ 生石灰火災時、最も有効な消火方法が有りましたらご教示願う。

標準的な教育テキスト（中間案）を用いた検証講習
アンケート調査結果
【C社・石油精製業（レイアウト事業所）】

1 実施日時

平成 29 年 10 月 26 日 9 時 15 分～11 時 30 分（135 分）

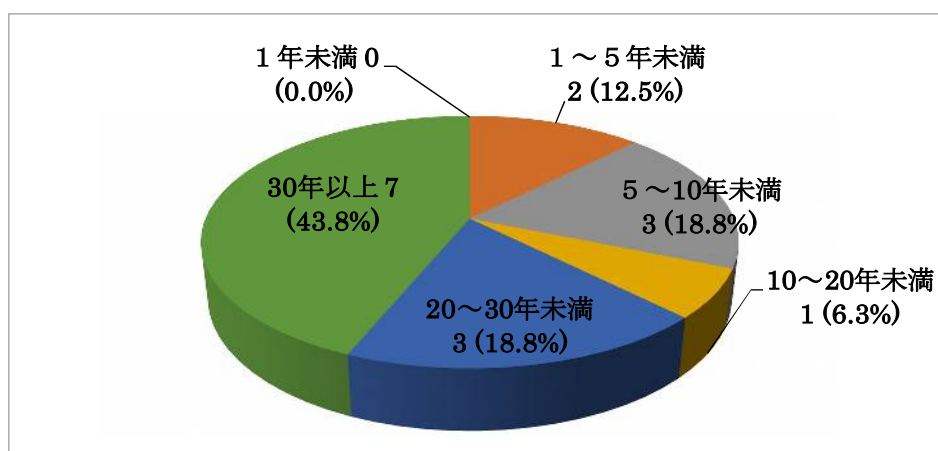
2 講師

安全環境部 安全課 課長

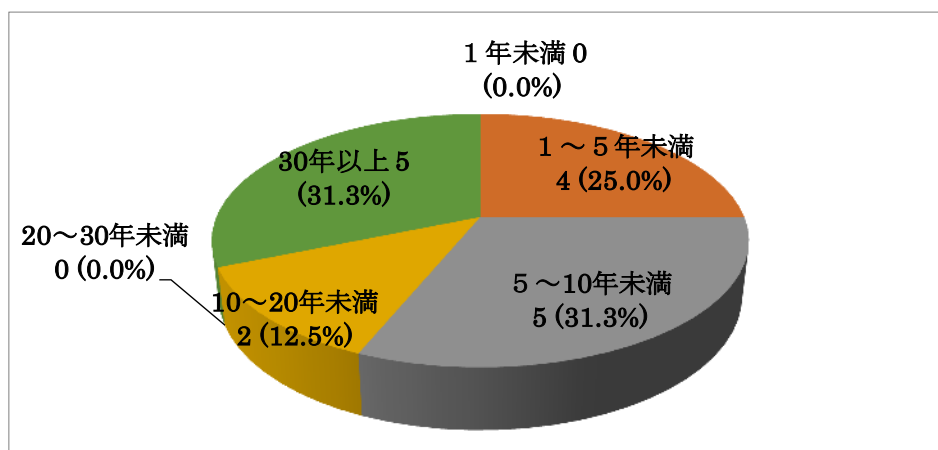
3 受講者

防災要員 計 16 名

(1) 勤続年数別



(2) 防災業務の経験年数別

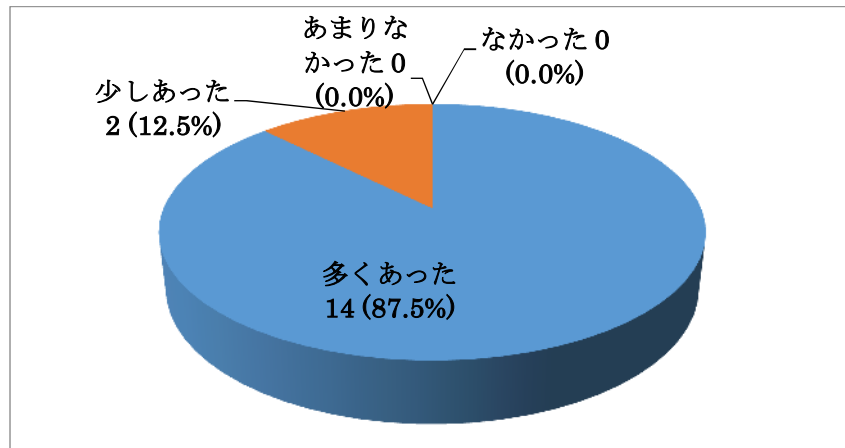


4 座学で使用したテキストの章・節等

第 1 章～第 5 章

5 講習会について

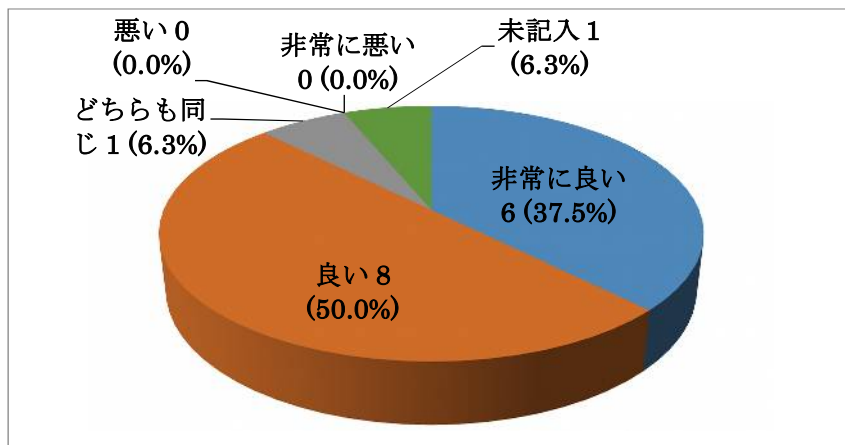
(1) 実際の業務に活かせる内容がありましたか



<意見等>

- ・ 消火活動の再認識が出来、知識が高まった。
- ・ 訓練を行う事でレベルアップが図られ、安心して消火活動ができると思う。
- ・ より理解を深めることができた。

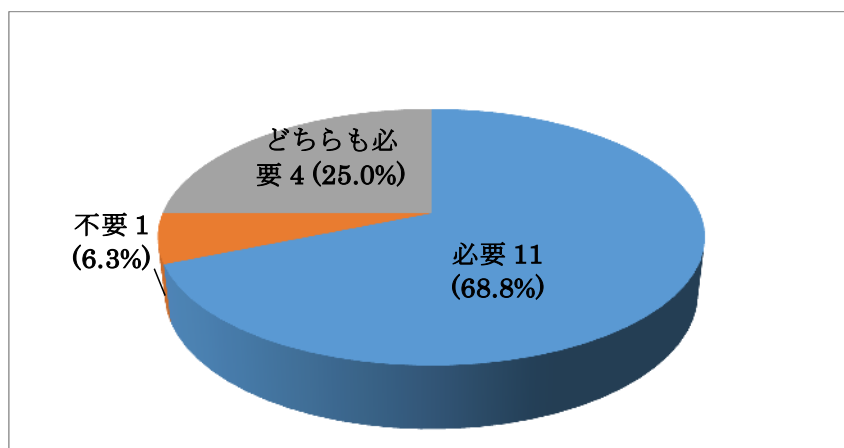
(2) 貴社で行われている従来の教育内容と比較していかがでしたか



<意見等>

- ・ 社内での様な教育はなく比較できない。

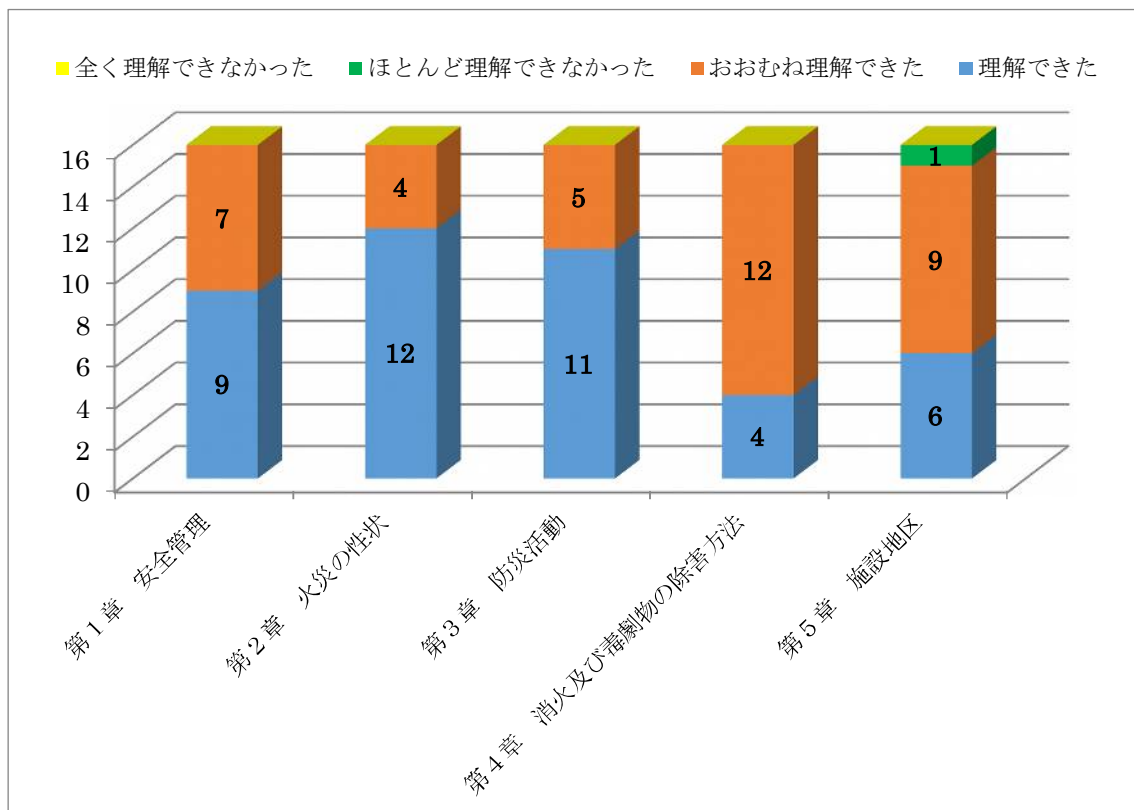
(3) 貴社で行われている従来の教育と比較して本講習会の必要性はありますか



<意見等>

- ・ 一人一人が消火活動において何をすべきかが分かる内容なので必要である。
- ・ 経験年数の少ない方には大変良いと思う。
- ・ 現在の職務につく者は、ほぼこの内容は理解していると思われる。

6 テキストについて



< 章ごとの意見等 >

第3章 防災活動

- ・ 業務的にも特にに関心、知識として有すべき分野であり、さらに理解できた。

第4章 消火及び毒劇物の除害方法

- ・ さらに理解を図るためには毒劇物等は専門的な知識が必要である。

第5章 施設地区

- ・ 時間をもう少しとって説明していただくと良いと思う。

7 その他について

(1) テキストの内容に対するご意見、ご希望がございましたらご記入下さい。

- ・ とても分かり易い内容となっていた。
- ・ ホース結合方法について、左足でメス金具を踏み込みではなく、オス金具を踏み込みではないか？
- ・ 大変良い内容である。
- ・ 教育対象者を防災要員初人とすれば良いと思う。

(2) 全体を通してのご意見や、お気づきの点がありましたらご記入下さい。

- ・ 6～10章は、テキストを読んだことでほぼ理解している。
- ・ 法令関係に関して分からなかったが、理解できた。

標準的な教育テキスト（中間案）を用いた検証講習
アンケート調査結果
【神戸市消防学校】

1 実施日時

平成 29 年 10 月 12 日 10 時～16 時 50 分（1 日目）

平成 29 年 10 月 13 日 9 時～16 時 50 分（2 日目）

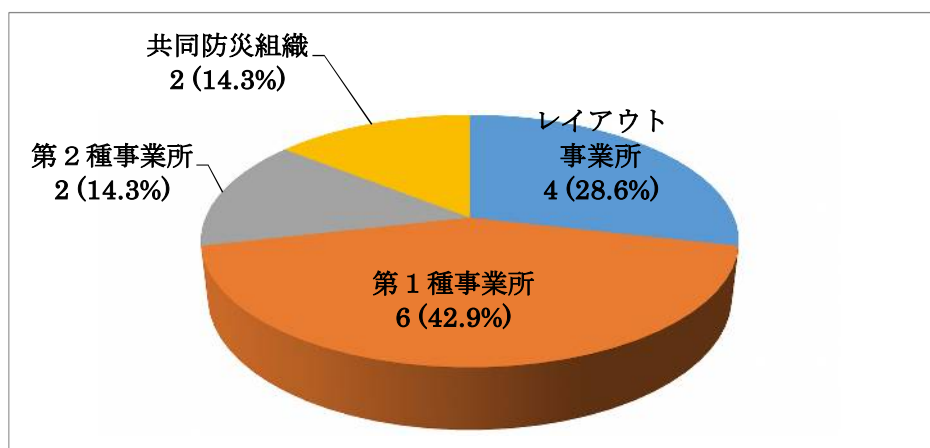
2 講習会内容及び講師

講習内容	テキストの活用箇所	講師	時間
安全管理	第 1 章	警防課員	30 分
屋外タンクの消火理論	第 2 章第 2 節	危険物係員	40 分
事例研究	第 10 章	危険物係員	30 分
通報訓練	第 8 章第 1 節	指令課員	60 分

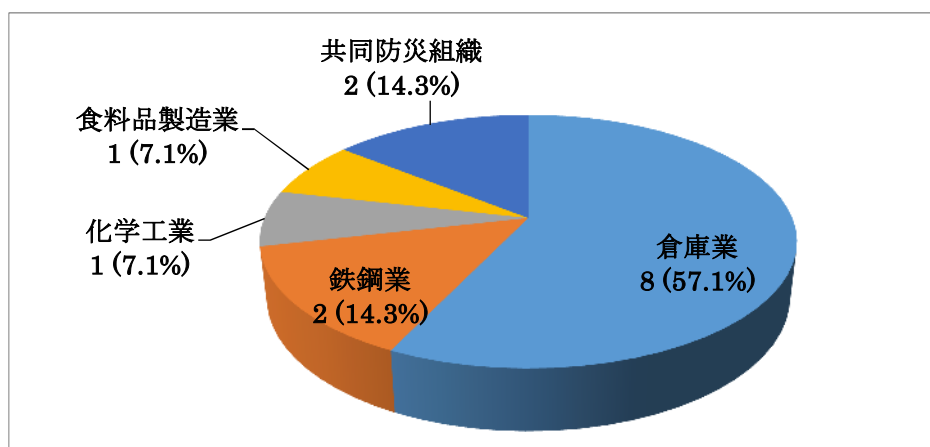
3 受講者

防災要員 計 14 名

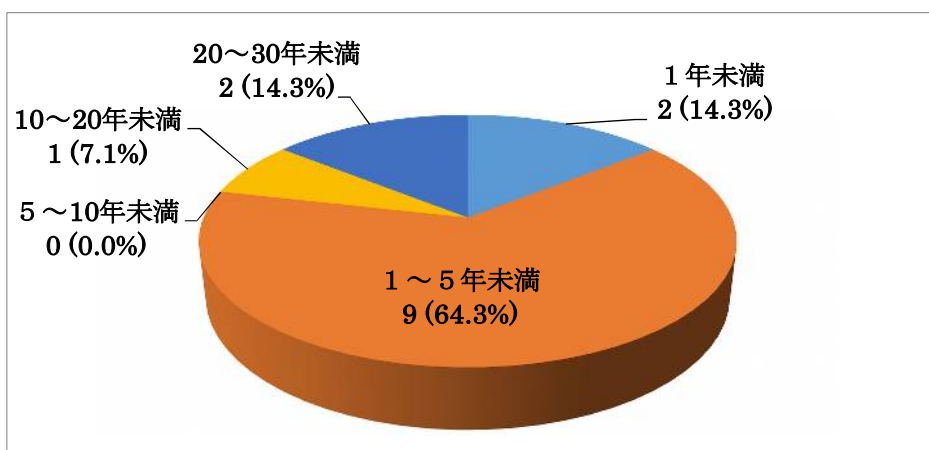
(1) 事業所種別



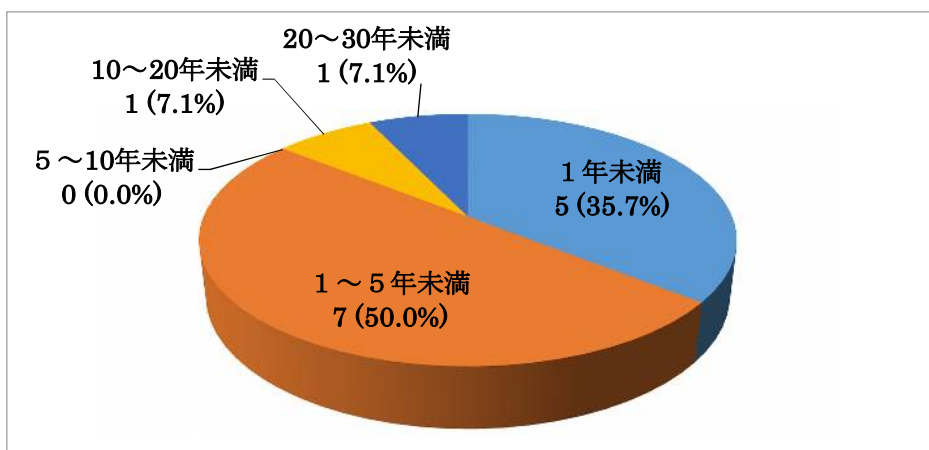
(2) 事業所業態種別



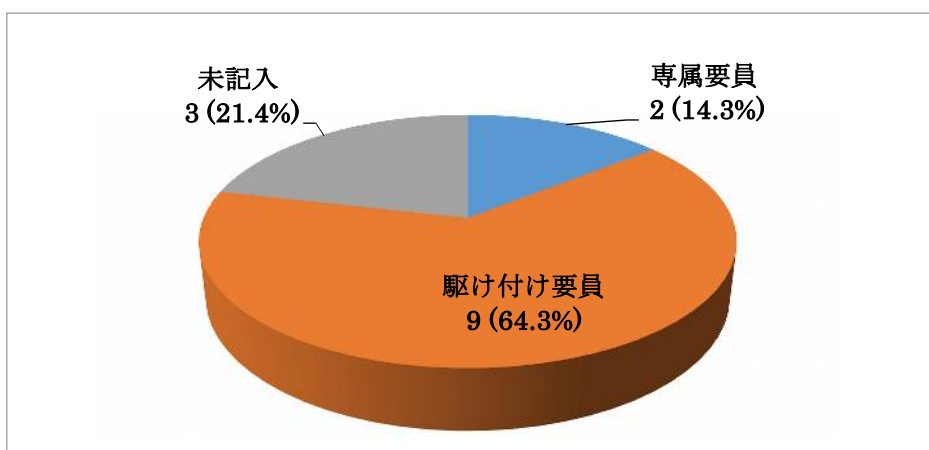
(3) 勤続年数別



(4) 防災業務の経験年数別



(5) 専属要員・駆け付け要員別

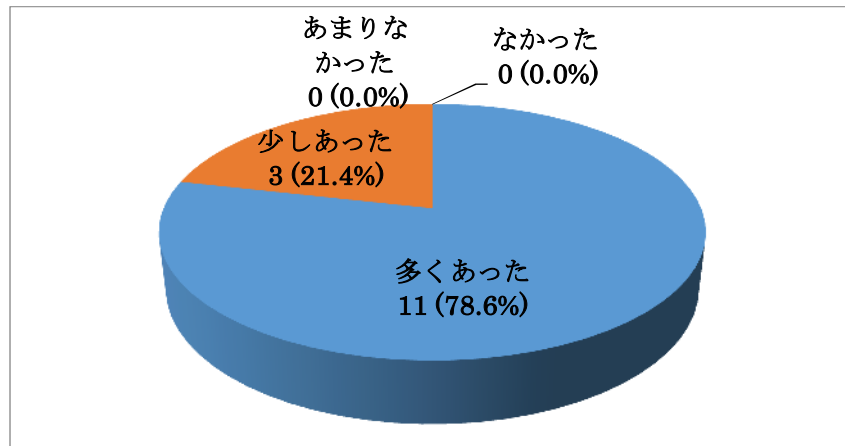


4 座学で使用したテキストの章・節等

第1章、第2章第2節、第8章第1節、第10章第1節

5 講習会について

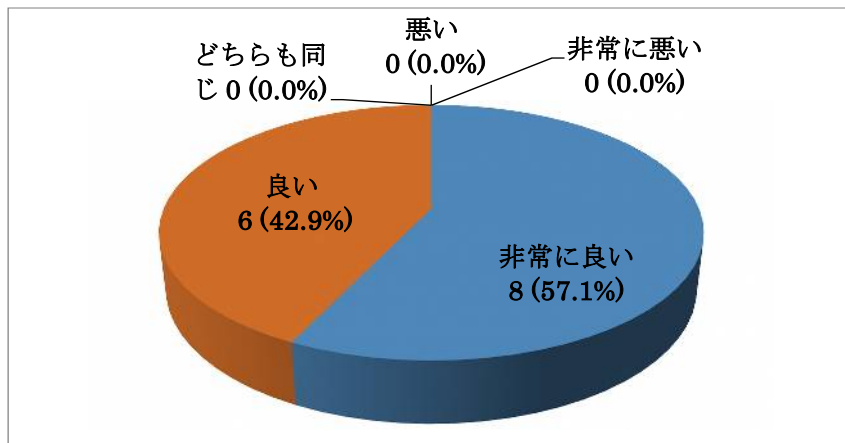
(1) 実際の業務に活かせる内容がありましたか



<意見等>

- ・ 今後、講習で学んだことを業務に活かし、職場でも反映したい。
- ・ 講話において若手職員に対する意識付けに活かす。

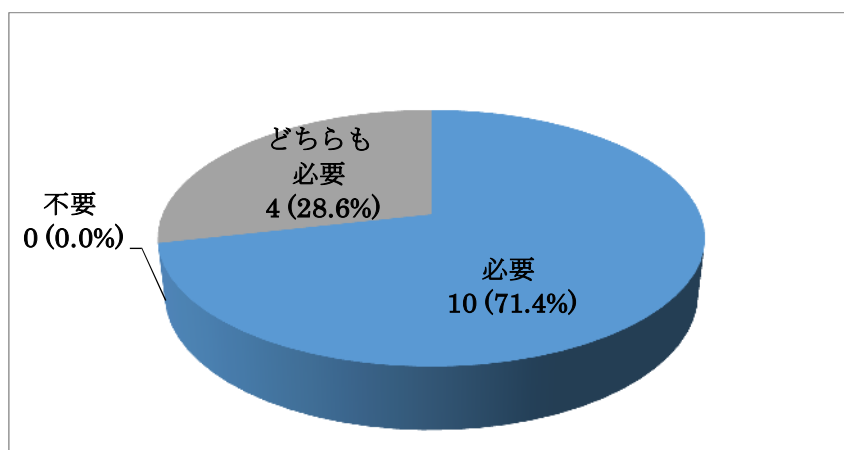
(2) 貴社で行われている従来の教育内容と比較していかがでしたか



<意見等>

- ・ 内容を詳しく説明してくれているところが良い。
- ・ 分かり易い絵のテキスト等もあり、より理解しやすかった。
- ・ 自社で行う分は、悪い言い方をすればマンネリ化になる。社外講習は刺激になる。

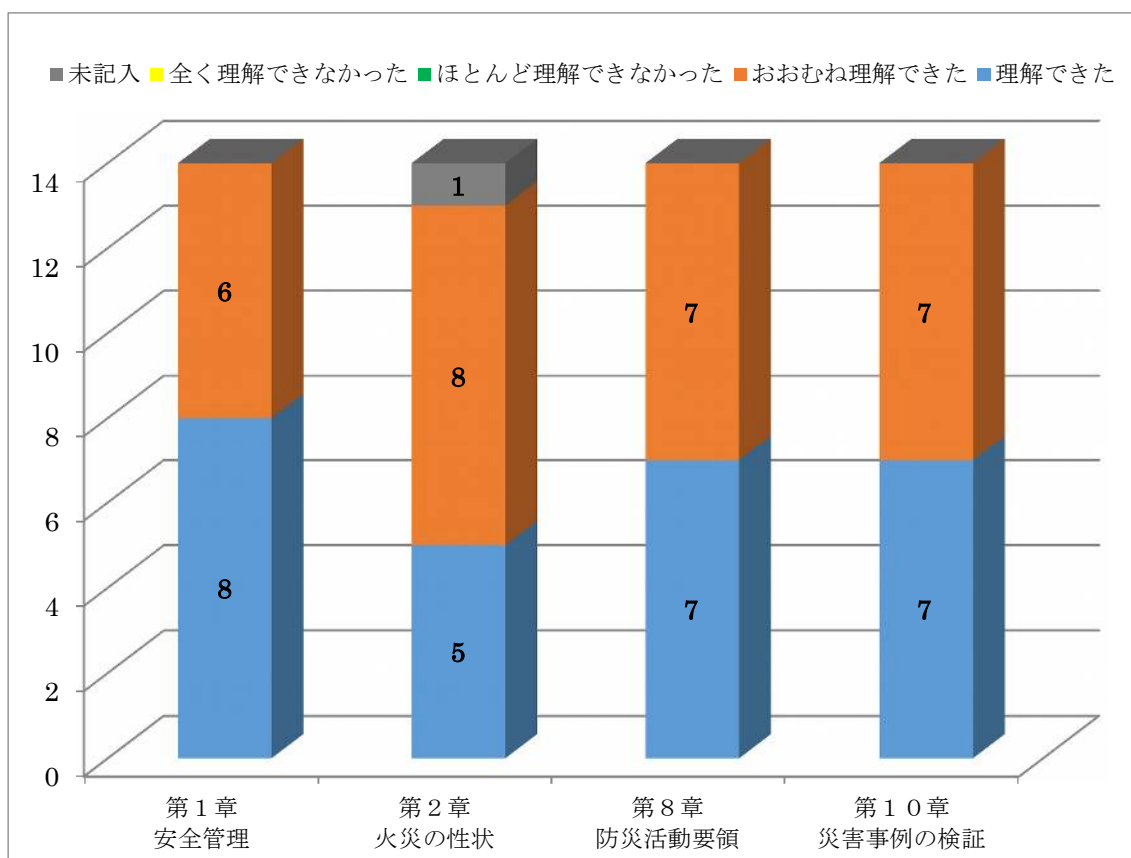
(3) 貴社で行われている従来の教育と比較して本講習会の必要性はありますか



<意見等>

- ・ 色々なことが体験出来るので必要だと思う。
- ・ 片方だけでなく、色々な会社の業務を知ることができ、良い機会だった。
- ・ 本講習会においては当社ではできない実務的な訓練ができたため、良かった。
- ・ 防災に対する再認識を同業者の方達と学び情報共有できることが良かった。

6 テキストについて



<各章ごとの意見等>

第1章 安全管理

- ・ ポイントで大切なところを分かり易く説明してくれた。

- ・ 分かり易かった。
- ・ 聞くだけでなく質疑応答（考えさせる）が講話に盛り込まれているのが良かった。

第2章 火災の性状 第2節「タンク火災の基礎知識」

- ・ 実際の模型での説明が分かり易かった。

第8章 防災活動要領 第1節「通報、情報収集、情報提供要領」

- ・ 通報時、消防局側がどんな情報が知りたいのかその様なところがよく分かった。

第10章 災害事例の検証 2「エチレンプラント火災事故」

- ・ 他の人の意見も聞けて色々勉強になった。
- ・ 写真付き（事例付き）の説明で分かり易かった。

7 その他について

- (1) テキストの内容に対するご意見、ご希望がございましたらご記入下さい。
 - ・ テキストをまだ全部見ていないが、見た部分では内容は詳しく書かれていて図でも色々表してくれているので分かり易いと思う。
 - ・ 内容は分かり易く事例もあって読み易い。研修会の時間内では終わらない内容のため、帰社してからも勉強が必要である。
 - ・ 受講した内容に関しては理解できた。
 - ・ 勉強になった。
- (2) 全体を通してのご意見や、お気づきの点がありましたらご記入下さい。
 - ・ 日頃想定した訓練を行っていたが、今回研修に参加したことにより、色々な体験ができ、想定範囲も広がり今後の訓練にも活かしていきたいと思う。
 - ・ 長靴など用意していただけてとても助かった。
 - ・ 全てに当てはまる状態にはなりえないが、基本的な行動が分かって良かった。
 - ・ テキストの活用が少なかったなので、もう少し座学の時間があってもいいかと思った。
 - ・ 防災に対する意識が変わった。実際に消火器を使ったり、放水を経験できたので事業所以外での災害時にも役立つと思った。
 - ・ 2日間という短く限られた時間の中での講習であったので、自分でテキストを読んで勉強することが大切だなと思った。
 - ・ 失敗事例の体験等、研修内容に盛り込んでいただきたい。